



子どもの体型変化に対応する天板傾斜机

家庭用学習家具の設計指針

技術分野分類 1207：感性情報学

技術キーワード (6)：感性計測評価

産業分類 E-13：家具製造業

内 容	概要	天板の傾斜する学習機を用いて、作業のしやすい机の高さを調査した（図1）。その結果、フラットな天板よりも傾斜のついた天板方が高い位置でも作業がしやすいことが明らかとなった。これにより、天板の傾斜によって成長に伴う体型変化に対応する学習機の設計指針を導出した（図2）。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	学習機は子どもの時期に購入し、身体の成長期間も同じものを使い続けるため、体型変化に対応する必要がある。体型変化への対応は机の高さ調節が一般的であるが、調節機構が大掛かりになるという問題点がある。本技術ではより簡易な天板の傾斜の調整機構によって体型変化に対応することができ、調節頻度も少なくすることができる。
	本技術の有用性	本技術によって、高さ調節よりも簡易な調整機能を有する机の設計や新しい形状の学習機の設計が可能となる。
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品	学習家具，家庭用家具，学校用家具	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	山口 穂高 岐阜県生活技術研究所 主任研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜県生活技術研究所 試験研究部 0577-33-5252 / 0577-33-0747 info@life.rd.pref.gifu.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2017年12月25日